

性能評価型(事例15) 逆洗回数を増やした事による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 7人槽 逆洗設定1日2回(3時、15時)それぞれ20分間 移送水量100/分

事例番号	15		浄化槽メーカー	株ダイキアキス		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	MCP		
法定検査日	平成 24 年 8 月 2 日	人槽	7 人槽	使用人員	4 人	
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	1未満	1未満	—		透視度	19 度
堆積汚泥厚(cm)	14	12	—		DO	4.8 mg/ℓ
透視度(度)	13	13	17		pH	6.6

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	逆洗時の移送汚泥が20分間で戻り切れてない。 逆洗設定1日2回(3時、15時)それぞれ20分間 移送水量120/分 日平均汚水量 0.85m ³ /日 採水時間11:00				
	対策	逆洗回数を3回に増やす。				
保守点検からの措置 返信内容	8月7日	指示通り、逆洗1日3回に変更する。			透視度	20 度
					DO	4.9 mg/ℓ
					pH	6.5
	8月21日	2次処理槽内水の透視度が21度に回復する。			透視度	24 度
				DO	5.0 mg/ℓ	
				pH	6.5	
9月4日	放流水透視度が改善しました。 逆洗回数を基本設定の1日2回に戻し様子を見る。			透視度	39 度	
				DO	5.3 mg/ℓ	
				pH	6.4	

【ポイント】



左:逆洗直後の移送汚泥(密度が高い)
右:逆洗終了前の移送汚泥(密度は低い量がある)